

(一社) 山梨県サッカー協会 4 種委員会 議事録
第 4 回理事会
平成 28 年 11 月 18 開催

〈会議の名称〉

理事会

〈会議の日時〉

平成 28 年 11 月 18 日 (金) 午後 7 時～9 時 00 分

〈場所〉

ぴゅあ総合 2F 会議室

〈出席者〉

- ◇石原幸周委員長 (甲府) ◇小林芳昭副委員長 (峡中) ◆福田和久副委員長 (峡北)
◆風間斉副委員長 (峡東) ◆志村祐会計 (甲府) ◇藤田徹会計補佐 (郡南)
◇三澤厚司理事 (郡東) ◇末木一幸理事 (峡東) ◇望月一徳理事食育 (峡中)
◇内田淳理事 (峡中) ◇村松貴志理事 (峡北) ◇西島秀和理事 (郡東)
◆三浦善明理事 (郡南) ◇三科健二郎事業運営部長 ◇溝呂木勉審判部長
◇神取一弘技術委員長 ◇横森潔キッズ部長 ◆野口フットサル部長
◇鈴木和幸理事広報部長

〈議事〉

司会：石原委員長

付議事項

1. 委員長挨拶
2. 報告事項
 - (1) 専門部報告
 - (2) 関東委員長会議及び J F A 第 4 種大会部会報告
 - (3) その他
3. 協議事項
 - (1) 山梨県 U-10 選抜少年サッカー大会総括について (別紙)
 - (2) チビリン山梨県大会について (別紙)
 - (3) 山梨県選抜少年サッカー大会について (別紙)
 - (4) ニッサングリーンカップについて (別紙)
 - (5) 全少 3 日目及び最終日について
 - (6) 全少山梨県大会各賞選考委員について (別紙)
 - (7) その他
 - ① 第 4 回山梨県サッカーカンファレンスについて
 - ② ウェルフェアオフィサーについて
 - ③ 暴力根絶相談窓口の設置について (別紙)
 - ④ 平成 29 年度 4 種予定について
 - ⑤ 少子化及び登録人数の減少について
 - ⑥ 今後の理事会予定について
 - ⑦ その他

議事経過

1. 委員長挨拶

4種事業半分が終了した、今後は進行中の全少県大会、チビリン、選抜、ニッサンと毎月立て続けに事業が続くが皆様方の協力を得つつがなく進めていきたい。宜しくお願いする。

2. 報告事項

(1) 専門部報告

事業運営部

・なし

審判部

- ・更新講習会が残り2回となった第7回12月10日（申し込み〆切11月19日）、第8回最終日12月18日（同 11月27日）となった。3級以上審判は受講しないと失効します。
- ・受講細則については、各地区理事を通じてチームに伝達を依頼する。

技術委員会

- ・12月3日・4日にナショナルトレセン選考会の関東選考会が開催される。1都7県各16名。山梨県16名（フィールド14名・GK2名）の選考通知を送付した。合わせて女子1チームが選考され山梨県から1名が含まれている。
- ・1月7日・8日・9日ナショナルトレセン中に、指導者講習会が開催される。県内11名が参加する。15名まで可能でWebから一般申し込みできる。
- ・11月23日県トレ・押原公園にてU-11（午前中）、U-12（午後） 女子は学院（午前中）実施する。
- ・11月26日（土）U-12トレセンマッチデーを初狩憩い公園で実施する。
- ・12月11日（日）県トレ・山梨市小原スポーツ広場で実施する。U-12（午前中）U-11（午後）、女子・学院（午後）

広報部

・なし

キッズ部

- ・今年度のキッズフェスティバルは全地区終了した。
- ・予定している出前フェスティバルは3件未消化となっている。12月11日上野原を予定しているが会場が未定となっている。
- ◆相模原市藤野町の沢井体育館（午後）押さえている（今後午前中実施で調整）
- ・キッズリーダー養成講習会2コース、①10月1日甲府城西高校コース、②11月6日甲府昭和高校コース実施した。
- ・キッズリーダー養成講習会オールコース（C級リフレッシュ含む）を平成29年1月21日（土）に実施する。4種関係の多くの参加をお願いする。
- ・U-9クアトロ大会を11月12日（土）高校選手権決勝前座として中銀スタジアムで実施した。112名参加の内、33名について11月25・26日の宿泊型アカデミーキャンプを実施する。
- ・地区理事に氏名・所属・学校名を通知する。各チームと情報を共有して来年度U-10トレセンに推薦をお願いする。

フットサル部

・なし

□その他

・キッズ出前 12 月 11 日の会場について調整中（郡内東）

(2) 関東委員長会議及び J F A 第 4 種大会部会報告（石原委員長）

■ 関東選抜少年サッカー大会

- ・平成 29 年 2 月 25 日（土）～26 日（日）茨城県ひたちなか市
- ・技術委員会よりさらに質を高める大会へとの下記提案が承認された。

※選手 16 名～20 名（G K 2 名含む）

※第 2 ピリオドは総入れ替え、第 3 ピリオドは自由

※参加選手は必ず試合に参加させること

【組合せ】

- A グループ 山梨① 東京① 茨城② 岩手県
- B グループ 千葉① 群馬② 秋田県 山形県
- C グループ 神奈川① 栃木② 埼玉② 長野県
- D グループ 栃木① 神奈川② 山梨② 宮城県
- E グループ 群馬① 東京② 青森県 福島県
- F グループ 埼玉① 茨城① 千葉② 新潟県

■ チビリン関東 i n 栃木（平成 29 年 3 月 19 日～20 日・栃木県那須塩原市）

【組合せ】

- A グループ 栃木① 群馬② 茨城② 神奈川①
- B グループ 埼玉① 山梨② 東京② 千葉①
- C グループ 茨城① 神奈川② 千葉② 東京①
- D グループ 山梨① 埼玉② 栃木② 群馬①

■ J F A 第 4 種大会部会・全少決勝大会要項（石原委員長）

① ベンチ入りする役員の人数

選手の安心安全を守るため、決勝大会では最小人数を 2 名とすることが決定した。（試合中負傷して選手の手当のためベンチ指導者が不在となった事例）

※決定事項 14 協議会規定（4）ベンチ入りチーム役員の数

：2 名以上 3 名以下（これに反した場合には、チーム役員に対し大会規律委員会により懲罰を科す。）

※2017 年度以降、各都道府県大会での適用をどうするか。

2 名以上に変更できるか、変更できるとしたら何年からか。

選手の安心安全のために全ての大会で規定する方向で検討する。（継続審議）

② ベンチ入りする役員の指導者資格保有

早くて 2017 年度決勝大会からベンチ入りする役員 1 名の指導者資格保有を義務付けることが決定した。

決勝大会での適用開始年はいつからが適切か。2017 年度からとした場合、差し支えないか。

※各都道府県大会での適用はどうか。義務付けが可能か、可能であれば何年からか。（継続審議）

③都道府県大会 懲罰対応

8人制の場合で、選手が退場となった場合「選手の補充」となっていないところがあったが、関東では今年度より「選手の補充」対応となった。

3. 協議事項

(1) 山梨県U-10 選抜少年サッカー大会総括について（別紙）（三科事業運営部長）

1. 全体

・2年目U-10山梨県選抜大会は、天候に恵まれ大きな混乱もなく大会が行われたことを報告するとともに、ご協力・ご尽力いただいた関係者の皆様に感謝する。昨年は事業運営部がほとんど参加できない状況を反省し、役員の方の運営に切り替えたことも円滑な運営につながったことと感謝する。次年度も同様の設営・運営でお願いする。

2. 日程

・天候もサッカー日和で選手も生き生きとプレイしていたように見受けられた。

3. その他

・ご意見をいただき次年度に反映したいと考える。

■キッズカテゴリーの年代の育成・強化を図るうえで今後も継続していかなければならない。各地域トレセンの活性化・目標となるように今後も継続していく。大会の位置づけを県協会にもお願いし支援をお願いする。

■開催時期はトレーニングの積み重ねや気候を考慮しても11月のこの時期に行う。

(2) チビリン山梨県大会について（別紙）（三科事業運営部長）

・期日：平成28年12月18日（日）

・会場：小瀬球技場、押原天然芝G（昨年は小瀬球技場）

・会場は決定後連絡する。 ※追記 小瀬球技場に決定（11月23日付）

■要項確認

・大会登録選手18名、試合登録16名

・ベンチ入り指導者は3名まで（2名以上が望ましい）を追加する。

・2016-2017新ルールを適用する。 を追加する。

■組合せ抽選結果

・地区代表決定後、地区理事に送付し各チームへ伝達する。

(3) 山梨県選抜少年サッカー大会について（別紙）（神取技術委員長）

・期日：平成29年1月28日（土）

・会場：押原天然芝G、人工芝G

【提案】

■レギュレーションの変更について、前回11人制でフルピッチ（大人サイズ）に変更し実施したが、ゴール前の攻防がなく、ボールの動きや選手の使う範囲が狭い。中盤の

攻防で足の速い選手がスペースに抜け出し得点するパターンが多くゴール前の攻防からの得点が生まれにくいという現象があった。11人制フルピッチに変更した理由としては、それまで8人制ハーフコートで実施していた大会が9月から1月になりフィジカルのにも大きくなりピッチサイズが小さいという印象があった。役員からもそのような意見があった。そこで卒業後を考慮し11人制のフルピッチを採用、但しゴールサイズなどは小学生用を使用することになり前回実施した。しかし決勝戦を除いては、広いピッチを活かせるようなゲームとはならなかった。フルピッチを全く経験のない中でこの年代ではそぐわないのではないかという考えになった。技術委員会では変更前の状態に戻して8人制のハーフコートで選抜大会を実施したいと考えている、前回理事会から提案しているが今回了解をいただきたい。育成の観点からももどに戻してはどうかとの今回の提案となった。

【意見】

- ◇8人制から11人制に変更した経緯を踏まえて、なぜ11人制フルピッチで活かすことが出来なかったのか、一年で変更することは拙速ではないか、もう少し検証が必要ではないか。
- ◇11人制を見越したトレーニングをしていたのか否かでも結果に違いが出るのでは。会場設定について課題があるが、6年生後半から先を見越して11人制を意識したトレーニングを積んだうえで実施してみてもどうか。
- ◇選抜選手間にもレベルに差があり多くの選手がフルピッチでは対応できないように感じている。8人制が良いのではと思う。
- ◇会場設営が許せばフルピッチではなく80m×50mの8人制も考えられるのでは。
- ◇関東選抜大会とは切り離して考えることが出来るので、技術委員会の中でジュニアユースに向けて取り組みが出来るのではないか。
- ◇技術委員会の意見を尊重して8人制に戻すことで良いと思う。
- ◇新規則の採用によりキックオフ後のシュートからの得点シーンが全少予選でも見受けられること考えると68m×50mは狭いと思う。ただし、どういうサッカーをするかは別として考えてみるとそういった力がついている。
- ◇11人制で出場できるメンバーが多いこともメリットがある。

【結論】

- もう一年フルピッチの11人制を採用し改めて検証する。各地域で11人制に移行の準備する環境も必要。ゴールその他のサイズもフルピッチを採用する。
- 大会登録メンバーは25名までとし、試合登録は22名とする。大会登録22名も可能
- ユニホームが揃わない場合は、試合ごとに背番号登録を行う。
- 要項は変更後再配布する。

【組合せ抽選結果】

- Aパート：峡中Z 郡内東 甲府A 峡北
- Bパート：甲府B 郡内南 峡中X 峡東

(4) ニッサングリーンカップについて（石原委員長）

■ 会場確保計画

- ・ 初 日：2月5日（日）小瀬補助、小瀬球技場（3面） 残り13面（甲府5 峡中8）

- ・ 2日目：2月12日（日）小瀬補助、小瀬球技場（3面）（峡東8 甲府1 峡中4）
 - ・ 3日目：2月18日（土）小瀬補助、小瀬球技場（2面）甲府・峡北担当
 - ・ 最終日：2月19日（日） 小瀬補助、小瀬球技場（1面）役員・事業運営部
- ※諸々事情により2月中の開催が求められていることから、非常にタイトな日程となる。ヴァンフォーレホームゲームやYBS中継車の運用にもよる。関東選抜大会2月25日（土）・26日（日）も予定されている。
- ※荒天時の日程変更も非常に厳しい状況であり、主催者と協議し報告することとなる。

■大会要項について確認した。

- ・ 交代選手は7名まで、「再交代」（アウトオブプレー時）を採用
- ・ ベンチ入り指導者は3名まで（2名以上が望ましい）を追加する。
- ・ 2016-2017 新ルールを適用する。を追加する。

■ニッサングリーンカップ参加チーム数（複数エントリー含む）の報告を12月5日まで
にお願いする。複数エントリー票受付が12月5日となっている関係で、12月5日まで
に各地区取り纏めて提出（抽選順含む）をお願いする。（三科事業運営部長）

(5) 全少3日目及び最終日について（石原委員長）

■11月20日（日）小瀬補助競技場 午前7時45分集合

- ・ 役員出労について確認
- ・ 出労役員 ・ 事業運営部7名 ・ 審判部11名

■11月26日（土）葦崎中央公園陸上競技場 午前8時集合

- ・ 出労役員 ・ 事業運営部 ・ 審判部

■全少山梨県大会2日目11月13日（日）に負傷した選手の試合起用について

◇平成28年度第40回全日本少年サッカー山梨県大会2日目11月13日（日）に行われた試合中、鼻骨骨折により治療中の選手について、大会3日目11月20日の試合にフェイスガードを着用したうえで出場させたい旨、当該チーム指導者より峡中地区理事宛てに問い合わせがあった。このついて11月18日（金）4種理事会で協議した。尚、その際「保護者同意書」と着用する「ノーズガードのパフレット」の提出があった。診断書の提出はなかった。

4種理事会の決定 【出場は認められない】

- ・ 鼻骨骨折して間もない選手が保護用具を付けたとしても安全とは言えない。骨折している選手を起用することを認めることは出来ない。
- ・ サッカーはコンタクトスポーツであり、自分以外の選手との接触を伴うスポーツ本人及び他の競技者にとっても危険な状況で試合をすることは認められない。

◇保護用具を使用しての試合出場

- ・ 審判団としては着用する用具に危険性がないかを見て判断することになる。
- ・ スポーツメガネの着用は認められているが、ケガの保護という意味合いとは異なる。

- ・ノーズガード自体が他の用具のように広く認知されている状況とは言えない。

◇プレーヤーズファーストの判断

- ・選手に対してもリスペクトが不可欠である。たとえ保護者が望んだとしても、指導者は選手の安全性を考慮しなければならない。危険性があるのに出場しなければならいと精神的に追い込まれるような状況があるとしたらハラスメントや虐待という考え方もある

◇今後について

- ・ノーズガードの扱いについては審判委員会とも協議し一定の方向を示す必要性があるか検討する。医師の診断書については、一般的に診断名、治療期間を知るもので試合出場の可否を保証するものではないと考えられるが、診断書や保護者同意書などの提出について今後協議する。

■懲罰について

- ・決勝大会実施要項 15 の（1）懲罰

本大会の予選（都道府県大会）は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会（決勝大会）において順次消化する。

※山梨県代表の上記報告をお願いします。（広報部）

（6）全少山梨県大会各賞選考委員について（別紙）

- ・本大会終了後の各賞について選考委員は十分吟味して選考をお願いします。

■フェアプレー賞（山梨県サッカー協会）

本大会で上位進出を果たし、チームとしての力量もありフェアプレーが自然に表れており、かつ実際に反則が少なく他の模範となるチーム。

■努力賞（特別協賛社：YKK）

本大会において、チームとしてすべてにわたる努力精進の姿勢が見られ、かつその結果が試合に良く表れているチーム。

■敢闘賞（山梨県サッカー協会 4 種委員会）

本大会で上位進出を果たし、試合にその持てるものを余すことなく発揮し、技術や戦術の内容もあり、かつ闘志やサッカーに対する姿勢に優れ“よくやった”という感動の持てるチーム。

■グッドマナー賞（特別協賛社：花王）

本大会における試合や生活全般を通じて、他に先駆けて良く努力しその戦い方や生活態度などに少年サッカーらしいさわやかさや、物事のけじめが感じられるチーム。

（7）その他

①第4回山梨県サッカーカンファレンスについて（石原委員長）

- ・期日：平成 29 年 3 月 5 日（日）
- ・場所：山梨学院大学・山梨学院サッカー場
- ・詳細決定後通知する。

②ウェルフェアオフィサーについて（石原委員長）

- ・全少初日及び2日目の報告 （時間の関係により次回とする）
- ・趣旨：多くのサッカーファミリーとリスペクト・フェアプレーの精神をもって、差別や暴力・暴言の根絶に向けて語り、考え、行動することが目的で、日々サッカー活動でのリスペクト、フェアプレーの精神の浸透を図る。
- ・来年度に向けた具体的な取り組み及び組織体制について

③暴力根絶相談窓口の設置について（石原委員長 別紙）

- ・4種委員会ではこれまでも指導者による暴力・暴言・威圧行為の根絶に向けて啓もうしている。そんななか、現実的に日本協会「暴力根絶相談窓口」には多くの通報がある。残念ながら4種からの通報が多くを占めている。このような状況から、各都道府県・種別ごとに受け皿を設置し対処していくことを考えている。今後継続審議をしていく。

④平成29年度4種予定について（石原委員長）

- ・昨年に基づいて年間計画を立てていくので協力をお願いする。
- ・定期総会については4月1日（土）を予定する。

⑤少子化及び登録人数の減少について（石原委員長）

- ・静岡県4種委員会の調査結果（委員長 別紙）
- ・少子化を見据えた検討委員会設置について（第2回理事会提案・横森理事）提出されていますが来年に向けて

⑥今後の理事会予定について（石原委員長）

- ・第5回理事会：平成29年1月14日（土）午後2時～
- ・役員新年会（午後6時30分～）
- ・第6回理事会：平成29年2月10日（金）午後7時～
- ・第7回理事会：平成29年3月10日（金）午後7時～

⑦その他

■C級コーチの養成講習会について郡内南地区で実施の要望がされ、了解された。改めて協会へも要望する。（郡内南地区理事）

■ニッサングリーンカップ参加チーム数の報告期限について（三科事業運営部長）

※協議事項（4）ニッサングリーンカップに関連する内容につき当該議事録に掲載しました。

以上

議事録作成 平成28年11月27日
広報部 鈴木和幸